

総合整備計画書

愛知県 新城市 大和田・東高松・小林辺地
(辺地の人口 57人・面積 12.2km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市作手大和田・作手高松

大和田 作手大和田

東高松 作手高松字

井代・梅平・大屋貝津・ヲミタロ・貝津・桂平・上貝津・上川
手・北沢・切ヶ平・古戸・古戸山・下山・瀬林・空山・滝ノ入・
滝ノ日影・寺貝津・中沢貝津・長保ヶ・中山・中山裏・鍋久後・
東畑・弓木沢

小林 作手高松字

井ノ口・川折・小林平・作造・島・十郎貝津・白石・西北沢・ハ
マイバ・宮貝津

(2) 地域の中心の位置

新城市作手大和田字持籠18-1

(3) 辺地度点数 214点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧作手村の東部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺 地対策事業債の予 定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		468,300	304,830	163,470	163,400
合 計			468,300	304,830	163,470	163,400

様式3

総合整備計画書

愛知県新城市 守義・木和田辺地
(辺地の人口 76人・面積 15.8km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市作手守義

新城市作手木和田

(2) 地域の中心の位置

新城市作手守義字郷中71-1

(3) 辺地度点数 203点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧作手村の北部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺 地対策事業債の予 定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		151,650	100,600	51,050	51,000
農林漁業経営 近代化施設	愛知県		42,000	37,380	4,620	4,500
合	計		193,650	137,980	55,670	55,500

様式 3

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 黒瀬辺地
 (辺地の人口 145人・面積 2.35km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市作手黒瀬

(2) 地域の中心の位置

新城市作手黒瀬字西川34

(3) 辺地度数 114点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧作手村の北西部にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		49,500	33,000	16,500	16,500
合 計			49,500	33,000	16,500	16,500

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 見代・赤羽根・杉平辺地
(辺地の人口 72人・面積 6.18km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市作手保永・作手高松

見代 作手保永字

井ノ表・打木・登立・桶淵・草木沢・四郎田・滝尾沢・滝坂・滝ノ入・滝山・中山・ヒカゲ・東当

赤羽根 作手高松字

井戸入・大久保・大羅畑・柿平・草刈場・坂下・下平・下谷・滝乗・トンゴウチ・八久保・平田・平畑・細久曾・本郷・松葉沢・摩長沢

杉平 作手杉平

(2) 地域の中心の位置

新城市作手保永字東当8-5

(3) 辺地度点数 141点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧作手村の南部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		22,350	14,900	7,450	7,400
合 計			22,350	14,900	7,450	7,400

様式3

総合整備計画書

愛知県新城市 田代辺地
 (辺地の人口 75人・面積 7km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市作手田代
 新城市作手荒原

(2) 地域の中心の位置

新城市作手田代字折地26

(3) 辺地度点数 256点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧作手村の南部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		224,600	153,750	70,850	70,500
合計			224,600	153,750	70,850	70,500

様式3

総合整備計画書

愛知県新城市 塩瀬辺地
 (辺地の人口 93人・面積 2.4km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市塩瀬

(2) 地域の中心の位置

新城市塩瀬字知幸部20番地

(3) 辺地度点数 160点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の北西部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する農道や林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
				特定財源	一般財源	
林道		新城市	101,600	63,700	37,900	37,900
農林漁業経営近代化 施設		愛知県	491,000	438,900	52,100	52,100
合計			592,600	502,600	90,000	90,000

様式 3

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 愛郷辺地
 (辺地の人口 144人・面積 7.46km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市愛郷

(2) 地域の中心の位置

新城市愛郷字和手貝津43

(3) 辺地度点数 165点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の北西部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		80,966	56,900	24,066	23,400
合 計			80,966	56,900	24,066	23,400

様式 3

総合整備計画書

愛知県新城市 只持辺地
 (辺地の人口 94人・面積 1.38km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市只持

(2) 地域の中心の位置

新城市只持字中貝津38番地1

(3) 辺地度点数 137点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の北部にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		114,950	71,950	43,000	43,000
合計			114,950	71,950	43,000	43,000

様式 3

総合整備計画書

愛知県新城市 名号辺地
 (辺地の人口 184人・面積 4.3km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市名号

(2) 地域の中心の位置

新城市名号字ハマイバ80

(3) 辺地度点数 126点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の東部にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		133,050	82,030	51,020	51,000
合計			133,050	82,030	51,020	51,000

様式 3

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 池場辺地
 (辺地の人口 53人・面積 3km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市池場

(2) 地域の中心の位置

新城市池場字上貝津9

(3) 辺地度点数 178点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の最東端にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		16,050	9,630	6,420	6,400
合 計			16,050	9,630	6,420	6,400

様式 3

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 七郷一色辺地
 (辺地の人口 69人・面積 20.7km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市七郷一色

(2) 地域の中心の位置

新城市七郷一色字桐久保43番地1

(3) 辺地度点数 155点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の東部遠隔地にあり、住民は、地域資源である農地や山村の保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		85,000	51,600	33,400	33,400
合 計			85,000	51,600	33,400	33,400

総 合 整 備 計 画 書

愛知県新城市 阿寺大沢辺地
(辺地の人口 59人・面積 5.5km²)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

新城市下吉田

黒淵、七滝、ハダナシ、沢谷下、梨野、小河内、恩田、田代、トコロ、
芋久保、後貝津、大沢

(2) 地域の中心の位置

新城市下吉田小河内109

(3) 辺地度点数 122点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

この地域は、旧鳳来町の東部にあり、住民は、地域資源である農地や山村の
保全・振興に努めている。しかしながら、農林業従事者の減少と高齢化の進
行、国産材の加工・流通体制の遅れ、素材価格の低迷、資材費・人件費の高騰
により、当地域の農林業を取り巻く環境は非常に厳しくなっている。

このため、農林業の振興・保全を図るため、災害時における迂回路や避難路
としての活用もできることから、農林業従事者が利用する林道を整備し、地域
格差の解消を図るとともに、住民の安心・安全に繋げる。

3 公共的施設の整備計画

令和7年度から令和11年度まで5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	区分	事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地 対策事業債の予定額
				特定財源	一般財源	
林道	新城市		20,000	12,000	8,000	8,000
合	計		20,000	12,000	8,000	8,000